

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成21年3月19日(2009.3.19)

【公開番号】特開2006-309154(P2006-309154A)

【公開日】平成18年11月9日(2006.11.9)

【年通号数】公開・登録公報2006-044

【出願番号】特願2006-20973(P2006-20973)

【国際特許分類】

G 0 3 G 21/00 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 21/00 3 9 8

【手続補正書】

【提出日】平成21年1月28日(2009.1.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

圧電トランスと、前記圧電トランスからの出力電圧を検出する出力電圧検出回路と、出力電圧設定信号と前記出力電圧検出回路からの出力電圧検出信号に応じて前記圧電トランスからの出力電圧を制御する出力電圧制御回路と、前記出力電圧制御回路から出力される信号に応じて前記圧電トランスの駆動周波数信号を発生して、該駆動周波数信号を前記圧電トランスに供給する駆動周波数供給回路とを備え、

前記出力電圧制御回路の時定数を、前記出力電圧検出回路の応答時間より長くしたことを特徴とすることを特徴とする電源。

【請求項 2】

画像形成装置における電源であって、

圧電トランスと、前記圧電トランスの出力電圧を検出する出力電圧検出回路と、

出力電圧設定信号と前記出力電圧検出回路からフィードバックされる出力電圧検出信号を比較する比較回路を備え、前記出力電圧設定信号と前記出力電圧検出信号に応じて前記圧電トランスからの出力電圧を制御する出力電圧制御回路と、前記比較回路での比較結果に応じて前記圧電トランスの駆動周波数信号を発生して、該駆動周波数信号を前記圧電トランスに供給する駆動周波数供給回路とを備え、

前記出力電圧制御回路の時定数を、前記出力電圧検出回路の応答時間より長くしたことを特徴とすることを特徴とする画像形成装置における電源。

【請求項 3】

前記画像形成装置は、像担持体上に静電潜像を形成する潜像形成手段と、静電潜像にトナー像を形成する現像手段と、トナー像を転写材に転写する転写手段と、転写材に転写されたトナーを当該転写材に定着させる定着手段と、を含み、

前記圧電トランスから出力される電圧が、前記潜像形成手段、前記現像手段、前記転写手段の少なくともいずれかに印加されることを特徴とする請求項 2 に記載の画像処理装置における電源。

【請求項 4】

前記出力電圧制御回路の時定数を可変としたことを特徴とする請求項 1 乃至 3 に記載の画像形成装置における電源。

【請求項 5】

前記出力電圧制御回路の時定数を、外部の制御部からの信号によって可変としたことを特徴とする請求項 1 乃至 3 に記載の画像形成装置における電源。

【請求項 6】

前記出力電圧検出回路の応答時間を可変としたことを特徴とする請求項 1 乃至 3 に記載の画像形成装置における電源。

【請求項 7】

前記出力電圧検出手段の応答時間を、外部の制御部からの信号によって可変としたことを特徴とする請求項 1 乃至 3 に記載の画像形成装置における電源。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】画像形成装置における電源

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 1】

本発明は、画像形成装置における電源に関する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

本発明の一側面に係る電源は、圧電トランスと、前記圧電トランスからの出力電圧を検出する出力電圧検出回路と、出力電圧設定信号と前記出力電圧検出回路からの出力電圧検出信号に応じて前記圧電トランスからの出力電圧を制御する出力電圧制御回路と、前記出力電圧制御回路から出力される信号に応じて前記圧電トランスの駆動周波数信号を発生して、該駆動周波数信号を前記圧電トランスに供給する駆動周波数供給回路とを備え、前記出力電圧制御回路の時定数を、前記出力電圧検出回路の応答時間より長くしたことを特徴とすることを特徴とする。